

# こうち子ども観光大使選抜講座3

## 盛会御礼新聞 歴史民俗資料館

平成28年8月6日

こうち子ども観光大使行朝

### 一ヶ月ぶりの再会

こうち子ども観光大使の選択講座③は県立歴史民俗資料館。講座②から1ヶ月以上ぶりである。申込者の参加の有無を心配していたが、さすがは子ども観光大使のメンバーである。申し込み者全員が時間通りに歴史の多目的室に集まってくれた。

入り口に立ち、集まってくる様子を見ていた。とにかく挨拶の声が気持ちいい。歴史の前にある長い長い階段の下からも、周囲の山に響き渡るような挨拶ができていた。参加児童十四名、保護者を含めると約三十三名。今回も大盛会となった。

### 学芸課長・野本亮さん

メイン講師は野本さん。「500年くらい前の戦国時代の人々がどんな暮らしをしていたのかを知ってもらいたいです。」

まずは、当時の生活の様子を表したジオラマと兜や鎧などの展示物見学に行った。野本さんの解説が面白い。

「武士も農民と同じように農作

業をしていたのですよ。みんながイメージする武士は、きれいな着物を着て、刀を持っていうもの。それは江戸時代の武士です。「子どもはもちろん、参加していた保護者からも「へえー」という驚きの声上がる。



多目的室に帰ってきてからも知的好奇心をくすぐる講座は続く。机上には2つの兜があった。

「どっちが古い？」と野本さん。積極的な観光大使がどんどん発言をする。子どもの一言一言に丁寧に歴史的な価値づけをしてくれる。だから、子どもたちの興味・関心が更に高まる。圧巻の講座であった。子どもだけでなく、大人の知的好奇心も満足させてもらった。

### 3つのブースで学ぶ

講座の後は、3つのブースに

分かれて歴史を楽しく学んだ。

- ① 折り紙で兜を作ろう
- ② 甲冑を着よう
- ③ 驚異の大太刀(2・8m)

①は実習に来ていた大学生4人が担当してくれた。驚いたことに、兜の折り方は5種類もありレベル別に教えてくれていた。



②の甲冑体験では可愛らしい武将が数多く誕生していた。小さい体に、大きい甲冑と兜を着る。あまりの重さによりける場面もあった。可愛い武将に数多くのカメラが向けられていた。



③の大太刀には誰もが驚いた。その長さ2・8m。持ち上げようとしたが重すぎる。通常サイズの刀のレプリカもあったので、その大きさ

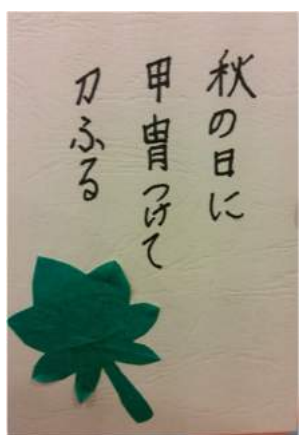


の違いは一目瞭然。何のために作られたのか？その使用方法は？ここでも野本さんの解説に、みんなが聞き入っていた。

面白いことに、刀コーナーには多くのお父さん方が集まっていた。やはり、大人になっても刀には魅力があるようだ。

### ふるさと俳句で発信

最後は、いつもの俳句作りで県立歴史民俗資料館の良さを発信した。俳句作りになると、一気に表情が凛々しくなるメンバー一同。今回も力作が並んだ。



### 感想より(一部抜粋)

・鎧や兜が重いことを初めて体験できてよかったです。刀を持てたりできたので、また子ども観光大使に参加して、楽しもうと思えました。  
・最後だったが、すごく楽しかったです。

った。これから高知県を知ってもらえるよう教えていきたい。

・鎧を着る体験とかは、なかなかできない体験なので嬉しかったです。  
・僕は歴史が得意で大好きなので、また歴史の知識が増えて面白かったです。

・Sちゃんと仲良くなれてよかったです。  
最後の感想がとて面白い。全く違う小学校から集まってくれたメンバーだが、活動を通して新たな繋がりができている。

さて、第一期の【こうち子ども観光大使】の全日程が終了した。今期は、総勢三十九名の認定をすることができた。そして、早くも子ども観光大使から活動報告が入っている。イオン高知で困っている様子の外国の方に声を掛けたとのこと。素晴らしい活躍だ！今後も、学んだことを生かして、高知のよさを発信してほしい。

最後に保護者の皆様、そして関係者の皆様のご協力に感謝します。ありがとうございました。

